

# 硬質小麦の新品種「ハナマンテン」

国産のパン用小麦は、生産量が非常に少ないのですが、消費者や製粉業者からの要望は、近年高まっています。また、畑地に適するため、遊休化の進む畑地への導入が期待されています。

現在の認定品種「ハルイブキ」は、製パン性は優れるものの、熟期が遅すぎることと、粒の外観品質が劣ることから、代替品種が望まれています。

「ハナマンテン」(平成16年、長野県で育成)は、グルテンが強靱な超強力粉で、パンをはじめ、多様な加工利用が考えられるとして、実需者から、強い導入要望があります。

「ハナマンテン」は、早生、多収で、穂発芽しにくい品種です。

一方、赤かび病に弱く、耐倒伏性があまり強くない欠点があります。今後の試験課題として取り組み、適切な栽培方法を確立します。

「ハナマンテン」を認定品種として採用し、硬質小麦の生産振興を図ります。

表1 奨励品種決定基本調査結果

施肥条件	品種系統名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	倒伏 程度	うどんこ 病	赤か び病	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/ m <sup>2</sup> )	子実重 (kg/a)	同左 比率 (%)	1リット ル重 (g)	千粒 重 (g)	等級 (見込)	原麦 粗タン ク質(%)
標肥	ハナマンテン	4.20	6.12	1.2	0.9	0.5	81	9.9	665	57.0	109	818	36.4	2~ 規格外	9.9
	標)農林61号	4.25	6.15	1.5	1.4	0.1	92	8.6	594	52.4	100	814	38.1	1	8.9
多肥	ハナマンテン	4.19	6.13	2.0	1.0	2.0	86	10.7	697	68.5	119	830	38.8	規格外	14.4
	標)農林61号	4.25	6.18	4.0	2.0	0.0	101	9.3	583	57.6	100	846	37.1	2	12.7

標肥区：基肥8Nkg/10a、追肥2Nkg/10a(6葉期)

多肥区：基肥10Nkg/10a、追肥1回目5Nkg/10a(6葉期)、2回目2Nkg/10a(出穂期)



成熟期のハナマンテンの様子 (農林61号 ハナマンテン ハルイブキ) 株標本

農林61号 粒の様子